

持続可能な地域航空のあり方に関する研究会（第9回）
議事要旨

1. 日 時：平成29年6月2日（金）10：00～11：20

2. 場 所：中央合同庁舎2号館16階国際会議室

3. 出席者：

有識者

竹内健蔵座長、加藤一誠委員、花岡伸也委員、矢ヶ崎紀子委員、李家賢一委員
（座長以外、五十音順）

4. 議事概要について

- (1) 事務局より、資料1-1「中間とりまとめ（案）＜構成フロー＞」、資料1-2「中間とりまとめ（案）」、資料1-3「（別添）持続可能な地域航空に向けた抜本的な対策（案）」を説明。
- (2) 各委員からは、「中間とりまとめ案」は前回の「論点の再整理（案）」を含め、今までの議論を非常にわかりやすく、体系的にまとめているとの評価とともに、案の最後に、とりまとめの実行にあたり、航空会社をはじめ関係者の協力が必要であり、今後も継続的かつ建設的な協力を要請する旨追記する等の文言の追加、修正が提案された。
- (3) また、今後の当研究会の進め方に関し、以下のような意見が示された。
 - ・ 定量的な要素が少ないため、今後、航空会社をはじめとする関係者に協力の上で、検証する必要があるのではないか。なお、データの提供が困難な場合は、他国の状況や他産業での状況等も確認する必要があるのではないか。
 - ・ 検証すべき項目が多くあることから、今後、これらを効率的に議論すべく研究会の進め方を検討すべきではないか。
 - ・ 実行に移すべき対策は多岐にわたり、また、実行に時間がかかる可能性があるが、細心に注意を払いつつ、プロセスを重視して進めるべきではないか。
 - ・ 中間とりまとめ案では「個社・系列・地域を越えた協業を促進させるための対策」について、「今後も検討を継続し、結論を得次第、可能な限り速やかに実行に移していくもの」の選択肢を全て並列で記載しているものの、その内容に強弱があることから、その点を認識して議論を進める必要があるのではないか。
- (4) 以上を踏まえ、当研究会としては、座長と事務局が各委員から一任を受け、中間とりまとめを修正するとともに、今後、引き続き議論、検討を進めることとなった。